

やまがた認知症カフェ通信 2019 3月号

平成31年3月19日発行 発行元／山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ

さくらんぼカフェの今年度活動報告



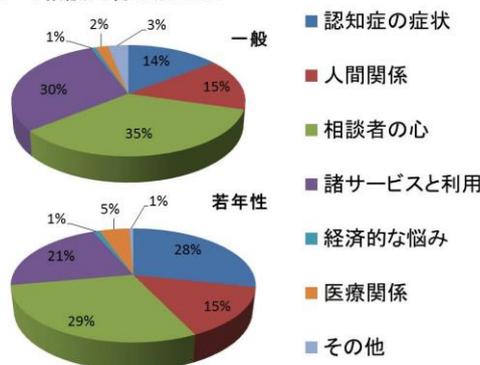
今年度、さくらんぼカフェが皆様からお受けした相談の件数や内容について、状況をご紹介します。相談件数(図1)は、平成29年度(～2月まで)の818件に対し、平成30年度(～2月まで)は795件とやや減少しています。これは、県内各地に認知症カフェが開設され、より身近な地域で支援の輪が広がったためとも考えられます。また、相談区分別に見ると、一般の認知症相談は、平成29年度の587件に対して平成30年度が535件とやや減少傾向であるのに比べ、若年性認知症に関する相談は、平成29年度の231件に対して平成30年度は260件とやや増となっております。さくらんぼカフェには若年性認知症支援コーディネーターが常駐していることから、認知度が広がってきたことも伺えます。

相談内容の内訳(図2)を見ると、一般・若年性ともに、認知症の症状や相談者の心理面に関すること、諸サービスと利用にかかる相談が大半を占めています。相談内容は介護者の精神的な悩みから継続した支援が必要なものから、制度の紹介など多岐に渡ります。最近では県外からの相談も増えており、遠方に住む家族(子世代)が山形県内に住む家族(親世代)の介護に不安を抱き、ご相談いただくケースも散見されるようになりました。県外からの相談については、インターネットでの情報を頼りにつなげることが多いようです。また、認知症カフェは平成29年度末で全ての市町村に設置され、開設相談や視察に関する問合せは落ち着いてきましたが、今後はカフェ運営の継続に関する相談ニーズが増えてくることが予想されます。さくらんぼカフェでは、カフェ運営の好事例や取組みの工夫など役立つ情報を発信し、これからも皆様のサポートを継続していきます。

図1 <相談件数>

年齢区分	H29年度 (4～H30.2月)			H30年度 (4～H31.2月)			H29・ H30 同月比
	電話等	面接	合計	電話等	面接	合計	
一般	235	352	587	261	274	535	0.91
若年性	79	152	231	67	193	260	1.12
合計	314	504	818	328	467	795	0.97

図2 <相談内容のまとめ>



さくらんぼカフェより

さくらんぼカフェから旬の話題をお届けします！

～～ 学びの場として、そして皆さまのために ～～

昨年の夏より、東北福祉大学の学生さん(4 回生)がさくらんぼカフェにおいて実学臨床教育という講座の一環で「さくらんぼカフェ」にて支援している若年性認知症の方の当事者グループにて調査研究を行いました。参加された方の言葉から、現在の状況や今後の希望に関連するキーワードを拾い出し、体系的に整理するものでした。それらを基に2月13日東北福祉大学ステーションキャンパスにて行われた研究発表会では、当事者の自己有用感が自己肯定感につながり、孤立の防止と前を向く力になるとの報告が印象的でした。

これからの時代は住民主体・参加型の取組みが重要と言われていきます。それでも、自らの有用感をなかなか持ちきれない場合もあるかもしれませんが、カフェの運営においても共通している部分があるかと思えます。そのための情報交換や交流の場として、さくらんぼカフェは皆さまの役に立っていきたくと考えています。



南陽市キャラバン・メイト「南陽座」

南陽市キャラバン・メイト「南陽座」の結成は、「南陽市キャラバン・メイト連絡会」が立ち上がったことに始まります。連絡会は、平成29年度、認知症サポーター養成講座の活性化を図る目的でスタートしました。月に1回集まり、養成講座に向けての準備から振り返り。様々な視点から認知症施策の意見交換を行い、メイト同士の交流を図っています。

今年度は学童期の認知症サポーター養成に力を入れ、市内の学童保育6箇所で養成講座を開催しました。子どもたちの素直な反応に手ごたえを感じながら質問に丁寧に答えたり、高齢者への接し方を心得ている子どもたちに心強く思ったりと様々な出会いにメイト自身の学びを深めることもできました。

さて、これまで「南陽座」は、サポーター養成講座等に寸劇を取り入れようと台本から小道具などを手づくりし、わかりやすく伝わるようにと練習を重ねてきました。今年度は、オレンジカフェでの開催が実現しプロ顔負けの演技やアドリブで会場は盛り上がりました。もちろん、周辺症状に対しての具体的な関わり方などもお伝えし、好評を得ました。地域の方からの認知症への関心、不安や悩みをお聞きすることが多くなっています。まだまだ駆け出しの「南陽座」ではありますが、これからも内容の充実や演技に磨きをかけて、地域住民の方が認知症について理解を深めていただけるように、普及啓発活動を続けていきたいと思えます。

いつまでも自分らしく暮らせる南陽市を目指して頑張っていきます。



インフォメーション

ホットな話題をお届けします！

認知症当事者とともにつくるウェブメディア



朝日新聞社では、認知症に特化した新しいウェブメディア「なかまある」を12月にオープンしました。全国の認知症カフェの紹介や認知症の方の家族、支援者によるコラムなど様々な情報が掲載されています。認知症カフェの検索もできます。ぜひご覧ください！！

ホームページは CLICK!

【オレンジリンク(仮称※)等の取組みに対する助成について】

山形県では平成31年度から、認知症の方や家族への相談支援や、認知症サポーターを活用した認知症の方が孤立しないための関係づくり、さらに、ピアサポート等の活動に対して助成を行います。

(※認知症の人等の支援ニーズにサポーター等をつなげる仕組みのこと)

なお、主な対象事例は以下のとおりです(予定)。

- ・仕組みづくりに関する検討会の開催
- ・認知症カフェ、本人ミーティングへの誘いや同行支援、専門職へのつなぎ等
- ・困りごとのお手伝い(見守り、外出支援、ボランティア訪問等)
- ・本人ミーティングの開催、当事者同士の交流・支え合い等

《 詳しくは、今後、県のホームページ等でお知らせいたします 》

カフェ情報

朝日町「認知症カフェ」のご紹介

もの忘れが気になり始めた方、認知症の方、その家族、地域の方、どなたでも一緒に茶を飲みませんか。

ほっとカフェ

毎月第3火曜日10:00~12:00

料金:300円

場所:朝日町開発センター和室

内容:お茶におしゃべり・体操・ミニ講話
(認知症予防・健康等)

ほかほかサロンと同時開催となります。

連絡先:朝日町役場健康福祉課

地域包括支援センター

電話:0237-67-2156

発行元:山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ 山形県認知症コールセンター(山形市 県小白川庁舎内)

電話・来所相談・カフェオープン月曜~金曜日 昼12時~午後4時

TEL 023-687-0387 FAX 023-687-0397 皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。